



阿蘇神社（旧村社）
御祭神 健磐龍命（タケイワタツノミコト）
例祭日 10月15日

社報
あそみや

平成9年1月1日
第20号
発行所
阿蘇神社社務所
多良見町化屋名862
TEL 0957-43-5235

神道の心

阿蘇神社

宮司 大島 大明

輝かしき初春を迎へ、氏子崇敬者のご多幸を祈念申し上げますとともに、本年も格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

神道では、人間は生れながら清らかなものであり、穏やかで澄みわたった心を持つものと考えられてきました。そのため日本人は清らかで澄みわたった心を古くから大切にしてまいりましたし、清浄さが神々に近づき、また神々の境地と一体化になるものと信じて

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて、向かふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

- 一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと
- 一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと
- 一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

きました。こうした人間の本来の姿にたちかえり、神々と一体になつた生活を営むことが、神道の祈りであり、神道の心と言えます。

神社に詣でると手水舎があり、また祈願を申し込むと御祓いを受けますが、これは日々の生活で汚れた心身を清浄にするもので、神社に祈願・参拝をした後にいただくお神酒は、神々と同じ酒を飲むことにより、心を一体化にするものです。

節分豆撒き行事

奉仕者募集!

阿蘇神社恒例の節分豆撒き行事の奉仕者を左記の通り募集します。十二年に一度のチャンスです。丑(うし)年生まれの方ならどなたでも参加できます。希望者は神社まで申込下さい。

記

一、日時（豆撒きの時間）
二月三日 節分の夜

一回目 午後六時四十分
二回目 七時三十分
三回目 八時二十分

一、募集定員
計 一回七名

一、資格
計 二十二名

丑(うし)年生まれの方に限ります。男女不問

大人 八、〇〇〇円
子供 五、〇〇〇円

(写真他記念品を贈呈します。)

一、申込方法

◎参加料を添えて、住所・氏名・

生年月日・電話番号と希望の時間をお知らせ下さい。詳細は後日、本人へ直接連絡します。

節 分 祭

昔は春が一年の始まりであり、節分は新春の年迎えの行事とされていました。然しひら太陽暦が用いられるようになり、年迎えの行事は一月の大正月・小正月を中心となり、節分は迎春の行事とて定着してきました。

本来節分とは、春夏秋冬の季節の分かれを云います。しかし現在では、冬から春に移る立春の前日を節分と云うようになりました。

災いをもたらす鬼（悪霊）を年男年女が穀靈の宿った豆を撒いて追い払い、清々しい気持で春を迎えるとするのが現在のお祭です。

阿蘇神社では年男・年女が神前でお祓いを受け、身を清めて豆撒きを行ないます。商工会の後援・協賛による景品付きの福豆をご家族お揃いでお受け下さい。

▲参考▼ 平成九年の年男女

昭和 六十年生

昭和四十八年生

昭和三十六年生

昭和二十四年生

大正

二年生

大正十四年生

秋晴れの十一月二十三日、午前十時より平成八年新嘗祭が本鳥部献穀田抜穂祭で刈り取られた初穂と白米が供えられた。先ず宮司が五穀豊饒を感謝し、諸産業の益々の発展を祈念する祝詞を奏上。参列者代表が順次玉串を捧げて拝礼を行なった。祭典終了後、社務所に移動して直会を開催した。本鳥総代会長の挨拶の後、町長、議會議長、喜々津農協組合長が交々祝辞を述べ、祝宴を行ない五穀豊饒を感謝した。



火焼神事

ほやき
しんじ

旧年中のお神札、お守り、破魔矢、熊手、神棚などに恙なく一年間を過ごせたことを感謝し、焼き納める祭りです。

△新嘗祭に際し以下の通り奉納を賜りました。御礼申し上げます。

▲敬称略▼

▼初穂・白米

長崎県神社庁西彼支部
市布名 内田 弘

▼白米

長崎県神社庁西彼支部
多良見町長、多良見町議會議長、喜々津農協組合長、富永喜志雄、小山好磨、松尾春雄、原口史郎、相良信義、山口隆好、前山弘、峰勝人、佐藤晶

以上

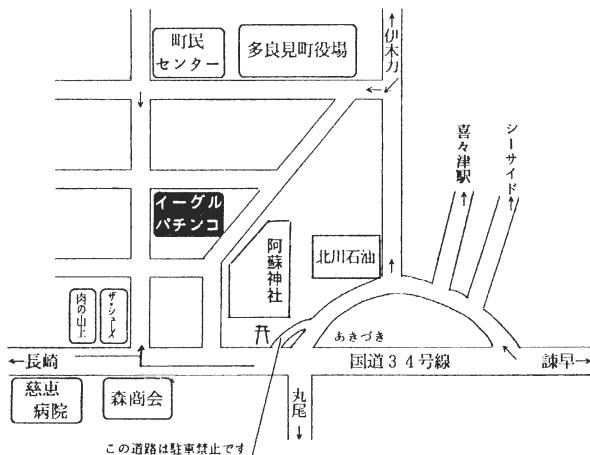
新嘗祭終了

初詣は阿蘇神社へ

【一年の計は元旦にあり】

恙なく新年を迎えたことを感謝し、一年間の目標を神様にお願いいたしましょう。

◎初詣・節分祭など神社への参拝にはイーグルパチンコ店の駐車場を借用いたしておりますので、是非ご利用下さい。



平成九年 算賀	厄入り	厄払い	昭和三十二年	生
昭和三十二年	生	昭和三十一年	生	生
昭和三十一年	生	昭和四十年	生	生
昭和四十年	生	昭和三十九年	生	生
昭和三十九年	生	昭和五十四年	生	生
昭和五十四年	生	昭和四十八年	生	生
昭和四十八年	生	昭和三十三年	生	生
昭和三十三年	生	大正	生	生
大正	生	昭和	生	生
昭和	生	二十年	生	生
二十年	生	十三年	生	生
十三年	生	七年	生	生
七年	生	四年	生	生
四年	生	明治	生	生
明治	生	四十三年	生	生
四十三年	生	昭和	生	生
昭和	生	六年	生	生
六年	生	十三年	生	生
十三年	生	生	生	生

稻荷神社の狐は知らぬ人はいないと云つて良いほど有名になっています。

こうした神使とは性格が異なりますが、神社の神様と縁が深いものもあります。阿蘇神社の鮎、それに今年の主役でもある天満宮の牛などで、神様同様の待遇を受けているものもありま

平均寿命は七十歳を越えた現在、古稀でも現役で仕事をしている人は多いようですが、年祝いは長い人生の節目に当り、今を感謝し更なる長寿を祈るものです。ご家族お揃いでお参りをいたしましょう。

そのほかにも半寿（八十一歳）、卒寿（九十歳）、白寿（九十九歳）、茶寿（百八歳）など多くの長寿の祝があります。

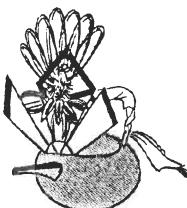
上寿は六十歳を下寿、八十歳を中寿と云い、これらに対応したものと云われています。

喜寿、傘寿、米寿
はそれぞれ字の略字
がそれぞれの数に分
解されることにより
ます。

長寿の祝いには、古稀（七十歳）、喜寿（七十七歳）、傘寿（八十歳）、米寿（八十八歳）、上寿（百歳）などがあります。古稀は、杜甫の詩にある「人生七十古來稀なり」に基づくが、その他の祝は字解き的なものが多いようです。

神社

Q
&
A



第5回 新年の運だめし Cross Word Puzzle

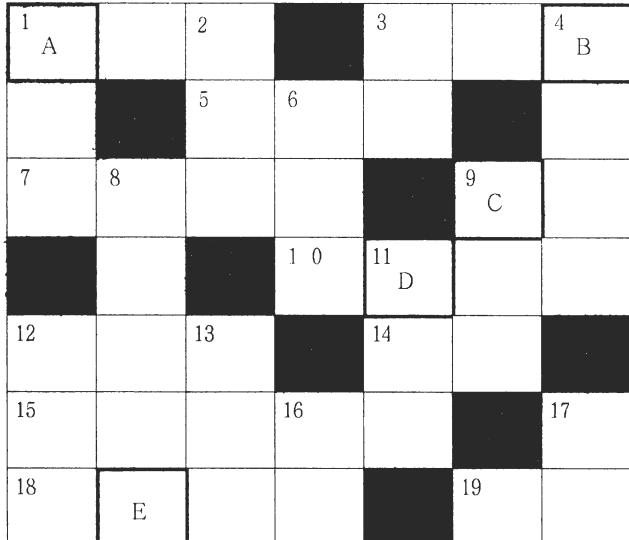
一年間の運だめしです。ハガキに①答え、②住所、③氏名、④電話番号を書いてお送りください。正解者に阿蘇神社特製置物「阿蘇鯨(中)」を10名様(正解者多数の場合は抽選)に贈呈いたします。締め切りは2月3日必着。

送り先 〒859-04 西彼杵郡多良見町化屋名862 阿蘇神社パズル係

(正解者多数の場合、抽選は2月3日節分の第一回豆撒き終了後行います。)

《ヨコのかぎ》
 1.作ってから、まだこしてない酒やし
 よう油
 3.作業中は立入禁止です
 5.あれ果てた広野
 7.団体旅行のため、バスを確保
 9.迷惑な中傷
 10.くちばしが鋭く、木の皮の下にいる
 昆虫を食べる
 12.米がおいしく、美人が多い?
 14.悪いことをすると、神仏から受けます
 15.静岡県南部の弥生時代の住居址
 18.品数が多いと迷います
 19.食事をするときの必需品

《タテのかぎ》
 1.先生の家に行つて教えを受ける人
 2.海に突きでた陸地のはし
 3.夢を食べると、いう想像上の獣
 4.犠牲が要い人には重宝されます
 6.動力を表す単位です
 8.自然現象で、目が悪いのではありません
 9.将来は番頭さんになりたい
 11.花は美しいが、病気の見舞いには不向きです
 12.後継者
 13.体にひつたり合ったももひき?
 16.春の七草
 17.今年は主役です



◎A～Eの文字を並べかえて下さい。

ヒント：国民的行事

十二月三十一日
阿蘇神社年末年始行事

午後四時

大祓式

氏子中より納められた大祓
人形は身代わりとして
祓い清められます

一月一日

午前零時より新年祈祷祭

午前一時

除夜祭

歳旦祭

二月二日

午前九時

元始祭

入、厄払など随時受付

厄

十一日午前九時

紀元祭

○祭典にはどなたでも参列出来ます。

ご家族ご近所お揃いで多数ご参列下さい。
都山流尺八愛好会により
尺八の奉納演奏。

◆奉 納 御 礼 ◆

○竹ほうき 十本 二十五日会
その他毎月境内の清掃奉仕を行なっています、老人会、ライオンズクラブ、遺族会の皆様方に御礼を申し上げます。

○大駐車場完備(阿蘇神社裏)
イーグルパチンコ
神社参拝の駐車場としてもご利用下さい

監	副	総代	宮	謹
全	全	全	会長	賀
事			司	新年

峰佐高永島相本松上本大
藤松門田良多尾原嵩島
勝素幸信博作實正国吉大
人弘男藏夫實美一雄松明

『あそみや』二十号をお届けします。十号を目標に始めた社報も、早いもので二十号を迎えるました▼昨年初めて企画した「阿蘇神社(熊本一の宮参拝旅行)」を本年も三月上旬に予定しています。ご希望の方は社務所までお尋ね下さい。▼寒さ厳しき折柄ご自愛下さい。